

令和7年4月吉日

関係各位

ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター
センター長 鈴木 康弘

令和7年度「ほくと・ななえ入退院支援連携強化研修会」のご案内

拝啓

春陽の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は当センターに対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センターで、研修概要書（別紙）の内容にて研修会を開催することとなりました。

今回は、函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者の皆様にお集まりいただき『はこだて医療・介護連携サマリー』を題材に令和7年度「ほくと・ななえ入退院支援連携強化研修会」を開催することとなりました。

本研修会の目的は、この地域の情報連携について共に考える機会をもつことで、サマリーの活用促進と医療と介護の連携力の強化を目指すこととしております。

是非、多くの方にご参加を賜りたくご案内をさせていただきました。

参加を希望される方は、6月6日（金）までに別紙の研修概要書にあるURL または二次元コードから Google フォームにアクセスして必要事項を記載しお申込みください。

また、函館市医療・介護連携支援センターのホームページを開き研修情報「ほくと・ななえ入退院支援連携強化研修会」のページにもお申込みフォームがございますので、ご利用ください。

敬具

【お問い合わせ先】

ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター 眞嶋（ましま）

函館市富岡町2丁目10-10 函館市医師会病院内

TEL：42-1232 FAX：42-1233

メール：k-ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

別紙 研修概要書

名 称	令和 7 年度 「ほくと・ななえ入退院支援連携強化研修会」
目 的	思いやりのある医療・介護連携推進を趣旨に作成した『はこだて医療・介護連携サマリー（プロセス・活用方法・その効果）』を知り、この地域の情報連携について共に考える機会をもつことで、サマリ－の活用促進と医療と介護の連携力の強化を目指す
目 標	・医療・介護間で共通のサマリーで情報共有する必要性や『はこだて医療・介護連携サマリー』について知ることができる ・この先、この地域に必要な情報連携のあり方を考えることができる ・顔を合わせて意見交換することで、入退院支援の連携力を高めることができる
日 時	令和 7 年 6 月 1 8 日（水） 1 8：3 0～2 0：3 0（受付 1 7：3 0）
会 場	北斗市総合文化センター かなで～る（大会議室） （住所：北斗市中野通 2 丁目 1 3 番 1 号 電話：7 4－2 0 0 0）
テーマ	この地域の情報連携のあり方を考える ～入退院支援の連携・強化を図るために～
内 容	・講演 （座長）函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会 函館市地域包括支援センターたかおか 施設長 松野 陽 様 （登壇者） 『はこだて医療・介護連携サマリーについて』（プロセス・活用方法） 函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会 部会長 函館中央病院 事務次長 亀谷 博志 様 『サマリーを活用した連携事例について』（サマリーを活用した上での効果） 函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会 訪問看護ステーションフレンズ 所長 保坂 明美 様 ・グループワーク等 ・意見交換・質疑応答 （座長）函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会 函館市地域包括支援センターたかおか 施設長 松野 陽 様
対 象	医療関係：入院医療機関 介護関係：居宅介護支援事業所，地域包括支援センター，訪問看護，地域密着型特定施設入居者生活介護，地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護，介護老人福祉施設，介護老人保健施設，介護医療院，サービス付き高齢者向け住宅，有料老人ホーム，認知症対応型共同生活介護，特定施設入居者生活介護，短期入所生活介護，短期入所療養介護，小規模多機能型居宅介護，看護小規模多機能型居宅介護 ※上記機関の医療・介護関係者（函館市・北斗市・七飯町）
参加人数	6 0 名程度
申込み方法	下記の URL または二次元コードから Google フォームにアクセスして必要事項を記載しお申込みください。URL⇒https://x.gd/JoFTQ ※函館市医療・介護連携支援センターホームページを開き 研修情報令和 7 年度 「ほくと・ななえ入退院支援連携強化研修会」のページにもお申込みフォームがございます。 ＜締切日＞ 令和 7 年 6 月 6 日（金）まで 
参加費用	無料
備 考	アンケート実施